

《6/2(木) 第53回ギャラクシー賞贈賞式 セルリアンタワー東急ホテル》

第53回ギャラクシー賞 ラジオ部門

ラジオドラマ 「赤ヘル1975」 優秀賞

6月2日、都内で放送文化の向上に貢献した番組や個人・団体を表彰する『第53回ギャラクシー賞』贈賞式が行われ、ラジオドラマ「赤ヘル1975」がラジオ部門（応募76番組、入賞8番組）で優秀賞を受賞しました。

「赤ヘル1975」は、直木賞作家・重松清さんの小説を原作としたドラマで、被爆70年の特別番組として2015年8月6日(12:00～14:55)に放送しました。原爆投下から30年、昭和50年の広島カープ初優勝。失意の中から希望を失わず復興をとげた先輩たちの思いや、カープ初優勝の感動を感じ、平和の大切さや生きる喜びを感じてもらいたいと企画した番組です。キャストは広島県内の小中学生や広島東洋カープの黒田博樹投手、本名正憲アナウンサー、横山雄二アナウンサー、伊藤文アナウンサー、岡佳奈さんが出演しました。



■贈賞式で優秀賞を受け取るラジオ制作部・増井部長

■GARAC 2016年7月号(25ページ)より

原子爆弾による壊滅的被害を受けた広島復興の過程と、戦争終結から5年後に結成された市民球団（特定の企業に依存しない）、弱小と言われた広島カープの1975年の優勝までの20年間の軌跡を同時進行的に追いながら、広島県民・市民の感動的な活動を描きました。

ドラマあり、実況あり、中継あり、インタビューありの複合的な番組ですが、制作者の思いが伝わる力作でした。

聴取後見事に復興した広島と、トップに立った広島カープに心から拍手しました。復興に際して何が必要かも教えてください。



■ドラマ制作に携わったディレクターも贈賞式に出席し記念の盾を受け取りました。